

第281回 京都歩こう会コース案内

リーダー 鎌田 正康

日 時:2019年11月22日(金)

集 合:近鉄京都線 新田辺駅 10時出発

コース:古の風景が残る京田辺を歩く ☆

距 離:9.1km

行 程:新田辺駅⇒棚倉孫神社⇒一休寺⇒田辺公園(昼食)⇒大御堂観音寺⇒三山木駅(解散)

|— 1.2 —|— 1.1 —|— 1.3 —|— 3.0 —|— 2.5 —|

(単位:km)

【見どころ】

- **棚倉孫神社**(たなくらひこじんじゃ):祭神は天香古山命(あめのかごやまのみこと)・別名 手栗彦命(たなくりひこのみこと)ともいい、手栗彦が棚倉孫に転じたともいわれる。一説にはこの地は養蚕が盛んで棚倉とは蚕棚の小屋の意であり、養蚕に関係のある神ともいう。本殿は、一間社・流造・桧皮葺。
- **一休寺**:鎌倉時代に臨済宗の高僧である大應国師が中国から禅を学び、お寺を建立したのがはじまり。もともとは戦火の影響を受けて復興もままならずいたものを、宗祖である大應国師を慕っていた一休禅師(一休さんのモデルとなった人)という室町時代の臨済宗の禅僧が、長い年月をかけ修復をしお堂を再興、師恩にむくいる意味で「酬恩庵」と名付けた。そして、その一休禅師がこのお寺で晩年を過ごしたことから「一休寺」という通称が広まった。
- **大御堂観音寺**(おおみどうかんのんじ):真言宗智山派。662年天武天皇勅願で創建され744年聖武天皇の勅願で中興、七堂伽藍を持ち筒城の大寺と呼ばれる大寺院だったが1437年の火災で焼失、大御堂だけが再建され現在に至る。十一面観音立像は奈良中期を代表する天平仏で全国で7体しかない国宝の一つ。



棚倉孫神社



一休寺



大御堂観音寺

【次回第282回ご案内】

日 時:2019年12月13日 (第2金曜)

コース:なにわの宮・界隈を歩く 距離:7.0km

集 合:JR環状線 玉造駅 午前10時

【次々回第283回ご案内】

日 時:2020年1月10日 (第2金曜)

コース:初詣 北野天満宮 距離:—km

集 合:北野天満宮 正面鳥居前 午前10時